

☆えんがる 議会だより

未来
ゆへに
向
つ
り
か
と
こ
り
行
こ
う
瀬
戸
瀬
小
学
校

6年

予算審査特別委員会一問一答
令和3年第2回町議会（定例会）
令和3年第1回町議会（臨時会）
ここが聞きたい！一般質問
委員会レポート
えんがる話

遠軽町議会 LINE
はじめました！



QRコードを読み込んで

LINE 友だち追加

思い出に変わる日々を忘れずに
瀬戸瀬小学校卒業式（P26に続く）

コロナに負けない 新たなにぎわいを目指して

期待が高まる
遠軽町芸術文化交流プラザ

3月定例会は、3月4日から12日まで9日間の会期で開かれました。初日に町長は施政方針を表明し、総合計画の6つの基本方針に基づき主な施策を掲げました。町長から提出のあった主な審議案件は、諮問1件、表彰5件、条例の一部改正9件、工事契約1件、財産の取得2件、令和2年度一般会計などの補正予算6件、追加議案1件が提出、さらに議員提出議案2件を審議し、原案のとおり可決しました。(記事はP13から)

一般質問は5人の議員からあり、町政について質しました。(記事はP16から)

令和3年度の一般会計及び特別会計などの7会計は、予算審査特別委員会を設置し(委員長竹中裕志議員)、集中審議を行い、すべての予算を原案のとおり可決しました。(記事はP6から)



前田 篤秀 議長



今村 則康 副議長



竹中 裕志
予特委員長



秋元 直樹



阿部 君枝



一宮 龍彦



稲場 仁子

令和3年
第2回定例会
3月4日~12日



岩澤 武正



黒坂 貴行



佐藤 昇

16 議員が
慎重に審議



佐藤 登



高橋 義昭



前島 英樹



山本 悟

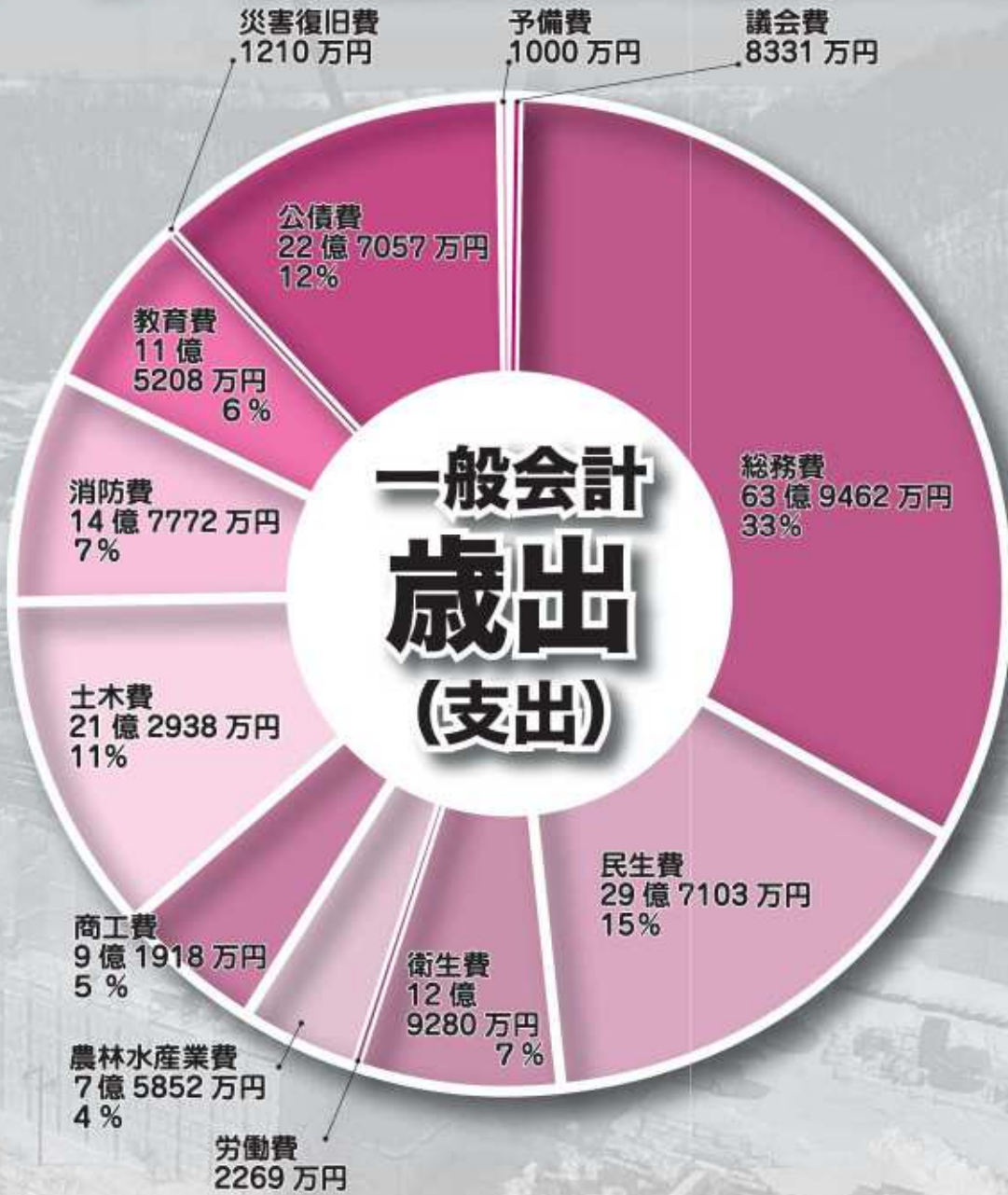


山谷 敬二



渡部 正騎

プラザ整備事業37億3077万円計上!!



3月4日から12日まで開催された第2回定例会会期中には、予算審査特別委員会（竹中裕志委員長）が設置され、令和3年度遠軽町一般会計を含む7会計の予算について、4日間にわたり審査した結果、本会議において全会一致で可決しました。令和3年度の建設事業で大きなものは、令和3年度完成予定の芸術文化交流プラザ建設工事など

の関連事業に約37億3077万円を計上しているほか、道の駅遠軽森のオホーツク遊具施設等整備事業や防災用資機材等備蓄施設整備工事などの経費が計上され、投資的経費は前年比0.1%の減、一般会計総額でも0.5%の減となっています。

（関連記事6〜12ページ）

一般会計(歳出・歳入)

194億9400万円

【前年度対比 0.5%減】

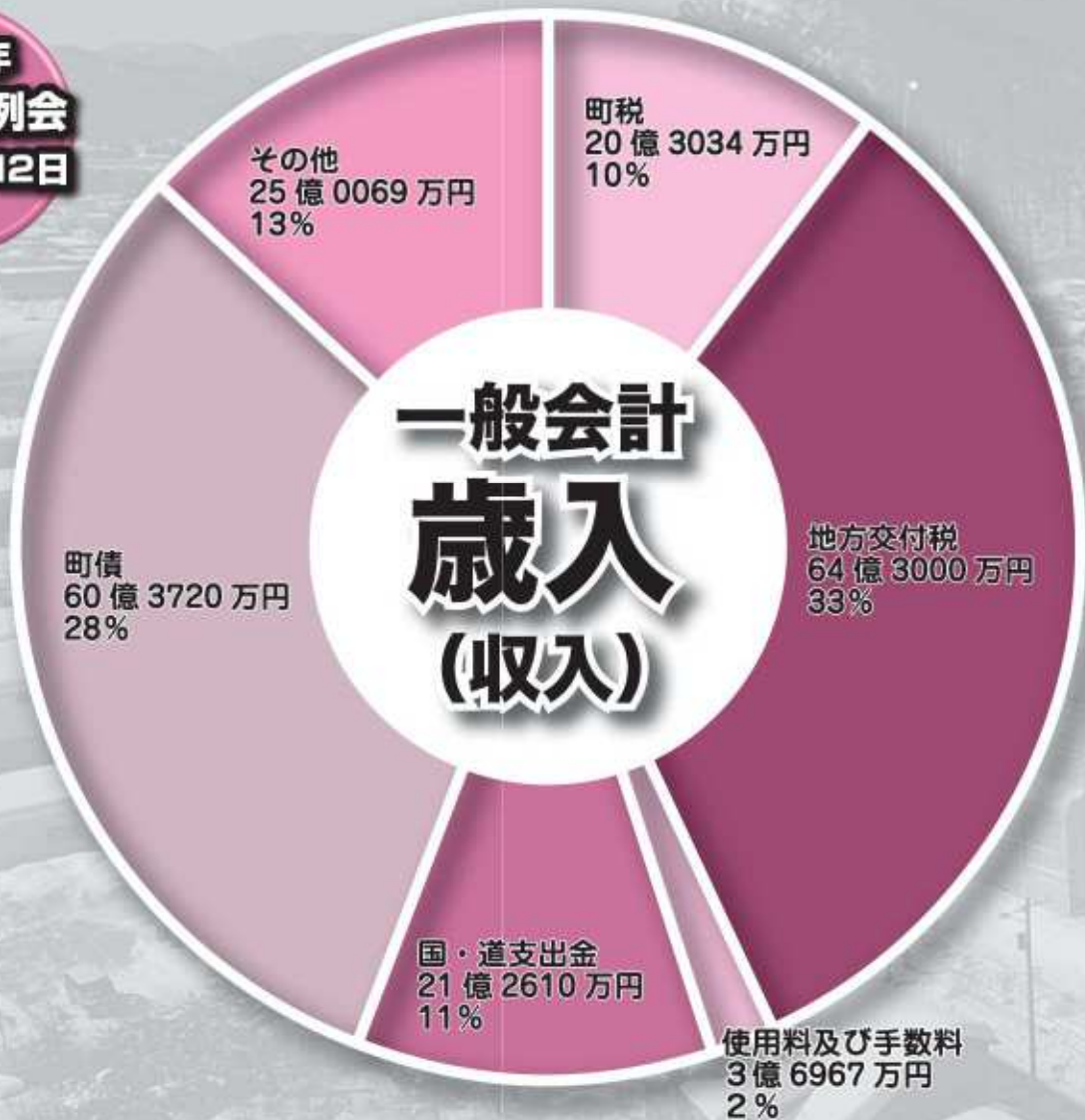
特別会計

国民健康保険	21億8766万円	【前年度対比 0.6%増】
後期高齢者医療	3億5479万円	【前年度対比 3.2%増】
介護保険	21億8125万円	【前年度対比 1.5%増】
個別排水処理事業	7861万円	【前年度対比 1.7%増】

令和3年度一般会計予算

完成へ着々と

芸術文化交流

令和3年
第2回定例会
3月4日~12日

歳出

「一般会計」は、町の基本的な仕事をするための予算です。歳出については令和3年度は前年度比較で9千7百万円減額しており、主な要因は、遠軽町芸術文化交流プラザ建設工事が令和3年度まで工期延長となったためですが、その他の事業の主なものとして、道の駅遠軽森のオホーツク遊具施設等整備事業や防災用資機材等備蓄施設整備工事などの経費が計上されています。

歳入

歳入とは皆さんから納めていただいた町税や国や道から入ってくるお金であり、町の事業を実施するのに必要な財源です。

歳出と同じく前年度と比較して9千7百万円減額していますが、町債については、地方債計画により、今年度計画している投資的事業等の財源として、また交付税の財源不足分に対処する金額を見込み計上されています。

予算の使い道は？

総務部①



○芸術文化交流プラザ整備事業
37億3077万円

- ・ 本体工事
- ・ 外構整備工事
- ・ 監理業務委託
- ・ 備品購入

○まちなかイルミネーション整備工事
設計業務委託
1000万円

抗議します！



印刷に適した紙を使用し、読みやすい瓦版の発行を心掛けています。紙質のグレードは最も低いものであり、経済的な紙を使用しています。

企画課長

えんがる

阿部君枝



町は時宜になかった情報提供のため、瓦版（新聞折込にて配布）を発行しているが、「良質な一紙を使用している」との町民の声に見直す考えは。

書費
文
報費
広報事業
瓦版の紙質について



渡部正騎



企画費
企画一般経費
過疎計画の策定を

財政上の特別措置が受けられる計画の一つである遠軽町過疎地域自立促進市町村計画は令和2年度で計画期間が終了したため、早めの再策定を。
企画課長
新たな過疎法制定後、速やかに計画策定します。



渡部正騎



統一的な基準による財務書類の令和元年度分を作成中であり、完成後は分析・検証の上で速やかに公表します。
財政課長

行政コストなど財政を知るために貴重な情報の財務4表は、地方公会計財務書類作成業務が完了したら早めに公開を。

政費
管理費
財政一般経費
財務4表の早めの公開を



黒坂貴行



企画費
地域拠点施設整備事業
都市再生整備計画について

本事業は市街地を中心に広範囲にわたるものである。住民にしっかりと説明が必要だが、その対応は。
企画課長
都市再生整備計画策定時に説明会を実施しており、各事業の設計時におきましても、関係団体や地域の皆様に説明いたします。



佐藤 昇



公募及び産業団体等から推薦された方で組織することになります。委員会においては、見直しの必要がある内容に応じて検討を行います。
企画課長

まちづくり自治基本条例の審議を進めるにあたっては、委員数の男女比率を意識した人選を。また、男女共同参画についても意識した議論を。

企画費
企画一般経費
まちづくりは男女共同参画を意識して

新年度予算審議



総務部②

○サテライトオフィス等設置促進事業

500万円

・町外や新たに事業を始める企業が町内に新たに事務所等を設けるときの補助

○移住定住促進事業 2543万円

・移住促進のための新たな取組「スローライフ等応援事業」に係る助成金等

○鉄道広場整備事業 1200万円

・遠軽地区都市再生整備計画事業のうち鉄道広場整備工事にかかる設計業務委託



事業の効果は

一宮龍彦



企画費

地域拠点施設整備事業
鉄道広場整備の目的は？

西町の町営駐車場にJRの転車台を移設することが計画され、その移設工事費算出のための設計予算が計上されたが、どのような効果を期待しているのか。

企画課長
新たに整備する「メトロプラザ」や「子ども広場」などと併せ、中心市街地の周遊性を高めるとともに、多くの鉄道ファンが訪れることを期待しています。



町の新しい体験をお礼に

佐藤 登



企画費

ふるさと納税促進事業
返礼品にツリートレッキング等を

ふるさと納税返礼品にツリートレッキング・スキーセット利用券、また今年オープン予定のジップライン・サマースキーセットの利用券を採用する考えはないか。

企画課長
体験型の返礼品の充実を図るため、ツリートレッキングやジップライン等についても採用を検討します。



遠軽の特徴を出すには

秋元直樹



企画費

子ども広場整備工事設計業務委託料
他町村の屋内施設との違いを

令和5年度の完成を目指す子ども広場の設計が始まるが、管内他町村の施設との違いを出すため、時代のニーズに合ったプログラミング体験やICT導入の考えは？

企画課長
他自治体の遊戯施設の利用状況や、関係団体の皆様の意見を取り入れるとともに、ICTの活用についても検討します。



各地域の声を届けるために

渡部正騎



治費
自振興

まちづくり会議事業
会議形態を見直した理由は？

委員の数が32人から12人減ったことにより、きめ細やかな要望の聞き取る機会が減少するのではと危惧している。会議形態を見直した理由は。

企画課長
会議の設置期間終了に伴い、各地域まちづくり会議委員の意見により、若者や女性による構成で新たな組織を設置することを検討しています。



より多くの人にバスを利用してもらうために

山本 悟



通費
対策費

バス路線確保事業
バス路線利用促進対策

車を持たない町民が移動手段としてバスを必要としている。バスの利用者が減る中で、バス路線確保のため利用促進の対策は？

企画課長
名寄線代替バスでは、路線内におけるフリーパスの販売や一日無料バスによる利用促進施策を実施しています。

町民の暮らしはどうなる？



感染症対策も考えながら

山本 悟



消防費
防災対策事業
新型コロナウイルス
密の解消対策

災害発生時、避難所に大多数が避難する。その時に新型コロナウイルス感染症対策として、「密を解消」ソーシャルデスタンスを確保する対策は考えているか？


危機対策室 参事

ダンボールベッドやマット等を適切な間隔に配置するとともに、必要に応じてプライベートルーム（室内テント）にて密を回避します。



黒曜石産地をめぐるジオツアー

稲場仁子



パーク推進費
ジオパーク推進事業
ジオパーク認定にむけて

今回条件付き認定となったが、2年後に向けて、専門員の確保等、今後の対応は？

ジオパーク推進課長

推進協議会構成団体及び関係者の皆様とともに、改善が指摘された事項について今後の対応を検討します。

民生部①

<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者のりもの乗車助成事業 692万円 ・70歳以上のバス及びハイヤー利用料を助成 ○高齢者総合生活福祉センター真空ヒーター更新工事 1723万円 ○産後ケア事業委託料 29万円 ・遠軽厚生病院で受けるデイサービス型の事業で、日帰りで体調管理、育児サポートを受ける。 ○子宮頸がんワクチン予防接種 369万円 ・対象者は、小学6年生～高校1年生相当 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活安全灯改修工事 2156万円 ・遠軽地域 12基17灯 ・丸瀬布地域 23基46灯 ○遠軽ラジオ局放送機器更新工事 6986万円 ・ラジオ局の放送機器が更新時期となるため、2か年の継続事業で整備する2年目
--	--

マイナンバーカードを普及させるには



マイナンバー

今村則康



戸籍・住民基本台帳
マイナンバーカードの取得促進を

住民サービスの一環として、デジタルカメラによる写真の無料撮影、申請代行等を実施して、サポート内容の環境整備を図るべき。

住民生活課長

カメラ機能内蔵のパソコンを庁舎内に設置しており、使用の際は、操作等支援サポートを行っています。



公平な滞納整理を

今村則康



町税
歳入町税
滞納繰越分の徴収対策は

公平、公正な滞納整理を目指して、町の信頼を向上させるためにも、収納体制を強化すべき。

税務課長

法に基づく滞納処分はもとより、行政サービスの制限など、納税者との公平性を保ってまいります。

新年度予算審議



医師確保は重要な課題

山本 悟



**衛生費
保険総務**

**地域医療対策事業
医師及び救急医療の状況**

住民が必要としている医療で、産婦人科及び小児科の医師の現在の確保状況と救急体制、今後の医療体制の状況は？

保健福祉課長
産婦人科医師2名と出張医、小児科医3名を確保し、休日・夜間における第一次救急体制の確保を図るため、遠軽医師会等と契約しています。

民生委員児童委員の日頃からの活動に感謝



相談

一宮龍彦



**福祉費
社会総務**

**民生委員児童委員事業
民生委員活動費は適正か？**

北海道民生委員児童委員連盟等の活動費を参考に、北海道から交付される活動費に加えて、町として独自に加算し活動の支援をしています。

遠軽町における民生委員の方々への活動費は、他の自治体と比較して適正か？

保健福祉課長
北海道民生委員児童委員連盟等の活動費を参考に、北海道から交付される活動費に加えて、町として独自に加算し活動の支援をしています。



経済部①

<ul style="list-style-type: none"> ○畜産担い手育成総合整備事業 1408万円 ・町全域の草地整備改良 ○畑地帯総合整備事業 1955万円 ・安国地区道営土地改良事業負担金ほか ○営農飲雑用水整備事業 3億1760万円 ・若咲内地区営農飲雑用水整備（令和2～5年度） ・豊里地区営農飲雑用水整備（令和元～3年度） ○生田原コミュニティセンター木質バイオマスボイラー設置工事設計業務委託 669万円 ・ボイラーの温室効果ガス削減及び管理コストの 	<ul style="list-style-type: none"> 低減を図るため設置工事を設計 ○道の駅遠軽森のオホーツク管理事業 4億8420万円 ・指定管理料 ・遊具施設等整備工事 ・外構整備事業 ・スキー場ゲレンデ整備工事 ・スキー場屋外トイレ整備工事 ・スキー場屋外ウッドパッカー解体工事 ・プレハブ、オフロード車両購入 ほか
--	---



町の農業振興の一助に

一宮龍彦




畜産費

**畜産関係団体助成事業
酪農学園大学との協定の効果は？**


酪農学園大との協定に基づく負担金を毎年支出しているが、この協定はいつから始まり、遠軽の農業振興にどのような効果をもたらされているのか。

経済部長
平成24年度遠軽地区の町及び農協が大学と協定締結。学生実習受入や獣医学部への推薦入学等により農業振興につなげた。



農業労働力の確保を

山谷敬二



**業費
農振**

**農業担い手対策事業
担い手不足、大切な事業だと思いが**

東京農業大学、新規就農者、次世代人材投資の各事業と、白滝地域新規就農者の支援とは。

農政林務課長
条例改正により、奨励金の増額や幅広い運用を行うとともに、国の制度を活用しながら担い手確保に取り組んでいます。

今後のまちづくりは？

経済部



- 道路橋りょう維持事業 2億8127万円
・湯の里原野道路第3号橋長寿命化工事
・豊里41号道路法面補修工事

ほか

- 道路新設改良事業 4億4412万円
・南町4丁目1号道路改良舗装工事（遠軽）
・宮前2条通道路改良舗装工事（遠軽）
・駅前線道路改良舗装工事（丸瀬布）
・北支湧別川沿線道路改良舗装工事（白滝）

ほか

- 町営住宅建設事業 3億3129万円
・末広団地公営住宅長寿命化改修工事
・北区団地公営住宅建設工事
・林友団地定住促進住宅水洗化工事
・やまなみ団地公営住宅建設工事設計業務委託

ほか

安心・安全な
ライフラインを
守るために！



公営住宅長寿命化計画による工事
（写真は令和2年度実施末広団地）

企業会計



水道及び下水道事業

- 水道管布設工事等 1億3434万円
○防災用資機材等備蓄施設整備工事(清川浄水場)
7億7528万円（一般会計）
○公共下水工事等 1億7400万円
○遠軽下水処理センター設備更新事業 4億円



防災用資機材等備蓄施設整備工事
（清川浄水場）

新年度予算審議 (つづき)



前島英樹



施設をより使いやすく

業費 農施設
各施設管理事業
実際の使用状況に応じた部署に
移管を

農政林務課長

補助事業の処分制限や条例の設置目的があるが、今後必要があれば所管変更を検討していきます。

現状の使用状況に合わせて所管を移すことにより、適正かつ有効な利用が図られるのでは。



渡部正騎



家畜を伝染病から守るために

業費 農施設
公共牧場の衛生管理について

農政林務課長

家畜伝染病予防法に基づき、関係機関で組織する家畜自衛防疫組合から衛生管理指導の徹底を図っています。

家畜伝染病などが各地で散見され、遠軽町も対岸の火事ではない。公共牧場の衛生管理を強化する考えは。



佐藤 登



太陽の丘をさらに活用するには

光費 観施設
太陽の丘にオートキャンプ場を

商工観光課長

どのような手法が観光振興に有益か今後も検討し、必要に応じ充実を図ってまいります。

コロナ禍で、車中泊やキャンピングカーの人口が高まっている中、広大な公園を有効利用するために、有料・無料のオートキャンプ場やオートサイトを設置し、併せてドッグランを設ける考えはないか。



佐藤 昇



既存施設の有効な活用

業費 林施設
国産材需要開発センター木楽館管理事業
高齢者が活動しやすい環境づくりを

農政林務課長

木工芸事業につきましては、町内の他の関連施設の活用も含め、今後検討していきます。

高齢者のための木工芸について、移転先の木楽館への工具類の配備は、高齢者が使いやすいものを準備すべき。



岩澤武征



子ども達が気兼ねなく使えるものを

光費 観施設
ロックバレースキー場ウッドベッカー解体工事
スキー少年団のロッカーに活用を

商工観光課長

ウッドベッカー後継施設は、スキー場の限られた敷地の中で建てる制約上、解体後跡地に建てることとしています。

スキー少年団の子どもたちのスキーロッカーがなくて困っている。解体するのであれば、残して活用してはどうか。



稲場仁子



多くの人が親しめるスキー場に

光費 観施設
道の駅遠軽森のオホーツク管理事業
スキー場ゲレンデ整備

商工観光課長

初心者コースの充実と、ハーフパイプの設置を進めるべき。

初心者コースの充実、利用者等の声を聞いた中で必要に応じ検討します。ハーフパイプについては、費用や課題について検討中です。

新年度予算審議 (つづき)



多くの方が定住して
もらうために

山谷敬二



住宅管理費

定住促進住宅管理事業
団地の水洗化について

令和2年度同様、生田原林友団地の水洗化工事があがっているが、今後の定住促進住宅の水洗化計画は。

建設課長

林友団地は令和3年度で水洗化が完了し、今後は町営住宅長寿命化計画により伊吹高原団地を予定しています。



地元の子ども達にも
使いやすく

阿部君枝



光費
施設

ロッカバレースキー場ウッドベッカー解体工事
跡地のプレハブ設置について

プレハブの利用については、学校・少年団等の子ども達がのびのびと使いやすい環境にするよう、指定管理者に対して町から申し入れすべき。

商工観光課長

今後具体的な利用方法を定めるに当たり、ソーシャルディスプレイの重要性等を町から指定管理者に伝え検討いただきます。

教育部①



- 教職員住宅屋根塗装工事 437万円
・岩見通教職員住宅2棟4戸
- 東小学校長命化改修工事設計業務委託 1458万円
- 瀬戸瀬小学校解体工事設計業務委託 608万円
・令和3年3月末閉校の瀬戸瀬小学校を解体するため
- 芸術文化交流プラザ指定管理料 788万円
- えんがる球場ブルペン整備工事 745万円



多くの卒業生を見送って(瀬戸瀬小学校)



「音楽の町」として

山谷敬二



教育費
社会総務

芸術・文化振興事業
今後の町の芸術文化振興は

例年、遠軽町音楽振興実行委員会に補助している。令和3年度は開館記念事業運営委員会となっているが、音楽振興は。

社会教育課長

遠軽町音楽実行委員会については、引き続き音楽の広場などの開催に向けて組織しおり、メトロプラザ開館記念演奏会などのイベントも検討しています。



より多くの成人の記念に

高橋義昭



教育費
社会総務

成人式事業
成人式記念品について

現在は、当日撮影された集合写真が配付されているが、全成人に記念品を贈るために再考はないか。

社会教育課長

成人式については、式典内容や開催場所の変更等を協議しているところであり、記念品についても検討していきます。

**令和3年
第2回定例会
3月4日~12日**

**第8期介護保険事業計画の策定に伴う
介護保険料改定額決まる！**

主な内容

主な条例改正

- ◆遠軽町行政組織条例の一部改正
町税等に関する事務分掌を民生部から総務部に異動するため改正するものです。
- ◆遠軽町介護保険条例の一部改正
第8期介護保険事業計画の策定に伴い、保険料を改定するため改正するものです。(関連記事23頁 民生常任委員会レポート)
- ◆遠軽町新規就農者誘致促進条例の一部改正
新規就農者等への支援内容の見直し及び手続の簡素化を図るため改正するものです。(関連記事

補正予算

- ◆令和3年3月31日をもって白滝牧野を廃止するため改正するものです。
- ◆遠軽町道の駅遠軽森のオホーツク条例の一部改正
えんがるロックパレースキー場の遊具等施設として設置するジップラインの使用料を定めるため改正するものです。
- ◆令和2年度遠軽町一般会計補正予算(第14号)(主な歳出入内訳)
○本庁舎管理事業 54万円
・燃料費
本庁舎の換気による燃料費の追加です。



施設のアクティビティのメインがいよいよ始まります

- ふるさと寄附金促進事業 170万円
ふるさと寄附金の受付等に係る経費で、寄附件数、寄附金額の増加による追加です。
- 基金運営事業 2580万円
指定寄附金15件、ふるさと納税寄附金1306件及びまち・ひと・しごと創生基金へ5件のほか、基金利子の積み立てです。



ふるさと寄附金の寄附件数、寄附金額の増加に感謝！

- 新型コロナウイルス感染症対策事業 460万円
・公共施設等維持管理体制持続化助成金
指定管理施設道の駅遠軽森のオホーツクの維持管理体制を持続するための助成金の追加です。
- 子ども・子育て支援事業 2636万円
・施設型給付費負担金
認定こども園の利用児童の増加による追加です。
- 上水道事業 461万円
・水道事業会計繰出金
- 下水道事業 266万円
・下水道事業会計繰出金
いずれも新型コロナウイルス



今なお最前線でたたかう医療機関のために

- ・公共施設等環境改善工事 4626万円
- ◆令和2年度遠軽町一般会計補正予算(第15号)(主な歳出入内訳)
○新型コロナウイルス感染症対策事業 680万円
・北海道家庭学校礼拝堂保存事業補金
社会福祉法人北海道家庭学校が行う北海道指定有形文化財北海道家庭学校礼拝堂の保存修理事業に対する補助金の計上です。
- (追加議案分)
○令和2年度遠軽町一般会計補正予算(第15号)

・新型コロナウイルス感染症対策医療機関特別補助金
・公共施設等維持管理体
制持続化助成金
・新型コロナウイルス感
染症対策に係る経費です。

○畑地帯総合整備事業

3041万円
・安国地区道営土地改良
事業負担金

国の補正に伴う道営土
地改良事業に係る負担金
の追加です。

○道路新設改良事業

1億4200万円
・岩見通道路改良舗装工
事

国の補正に伴う道路改
良舗装工事の追加です。

○小学校管理一般経費

680万円
・感染症対策等学校教育
活動継続支援事業交付
金

○中学校管理一般経費

560万円
・感染症対策等学校教育
活動継続支援事業交付
金

いずれも国の補正に伴
う感染症対策及び教職員
の資質向上のための研修、

学習保障支援に係る各学
校への交付金です。
(全会一致可決)

表彰

遠軽町表彰条例によ
り、次の方を表彰するこ
とについて、原案のと
おり可決しました。

◎社会功労（公共のため
30万円以上の金品を寄附
した個人）

・南町4丁目
清野 初雄 様
(新型コロナウイルス
感染症予防対策資金)

・白滝616番地
吉田 敏 充 様
(まちづくり振興資金)

・大通北7丁目
橋田 トシ子 様
(社会福祉振興資金)

・社名淵61番地
橋本 尚明 様
(まちづくり振興資金)

◎社会功労（公共のため
100万円以上の金品を
寄附した法人又は団体）
・東京都新宿区
(株)関水金属

(まち・ひと・しごと創
生推進事業資金)

人事

◆人権擁護委員の推薦

本年6月30日をもって
任期満了となる委員とし
て

岩田 ふじ子 氏
(遠 軽)

山本 美栄子 氏
(丸瀬布)

工藤 敏 広 氏
(丸瀬布)

の推薦に同意しました。
**消費者の被害を
防ぐために
1国などへ意見書を
2件提出！**

議員提案により意見書
が提出され、可決し関係
省庁等に送付しました。

高レベル放射性廃棄物の
最終処分場にならないこと
を求める意見書
(提出者等 稲場議員ほ
か4人)

(提出先) 衆・参両議院
議長、内閣総理大臣、経
済産業大臣ほか
(賛成8・反対7)

悪質商法による消費者被
害をなくすために預託法
の改正及び執行強化並び
に特定商取引法及び同法
指針の改正、執行強化を
求める意見書
(提出者等 秋元議員ほ
か4人)

(提出先) 衆・参両議院
議長、内閣総理大臣、内
閣府特命担当大臣(消費
者及び食品安全)
(全会一致)



弱みに付け込む悪質
業者を許さない！

3名の議員が
自治功労者表彰

全国町村議会議長会
会長からの自治功労者表
彰伝達が、3名の議員へ
行われました。

このたびの表彰は、全
国町村議会議長会表彰規
定に基づき、一宮龍彦議
員、岩澤武征議員、黒坂
貴行議員の3名が、遠軽
町議会議員として、15年
以上にわたり地方自治の
振興発展に貢献した功績
が認められたもので、前
田篤秀議長から表彰状の
伝達を受けました。



永年の功績が認められ
(左から一宮議員・岩澤議員・黒坂議員)

令和3年第1回町議会(臨時会) 新型コロナウイルスワクチン 接種事業補正予算を可決!

令和3年第1回遠軽町議会(臨時会)が2月10日に開かれました。

審議案件の主なものは、令和2年度遠軽町一般会計補正予算(第13号)が提案されたほか、新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度一般会計補正予算の専決処分1件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、令和2年第8回町議会(定例会)で総務・文教常任委員会に付託されていた「遠軽町議会議員及び遠軽町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について」及び同じく経済常任委員会付託されていた「遠軽町温泉分湯条例の制定について」は、原案のとおり可とする報告がありました。

補正予算

(主な歳出内訳)

- 新型コロナウイルス感染症対策事業
 - ・職員住宅等改修工事 $\Delta 300$ 万円
 - ・備品購入費 300 万円

お試しテレワークスペース等の施設整備に要する経費のうち職員住宅等改修工事の予算を減額し、貸出用トレーラーハウスを購入する備品購入費に追加するものです。

○地域医療対策事業

- 1000万円
- ・遠軽地域医療対策連携会議負担金

遠軽厚生病院の医師確保に係る広報事業を実施するための負担金の追加です。

○新型コロナウイルス

ワクチン接種事業

1億1467万円

新型コロナウイルスワクチン接種に必要な体制確保と、ワクチン接種の実施に係る看護師・保健師を任用するための人件費、マスク等の消耗品費、接種券発送に要する通信運搬費やワクチン接種委託料などの経費です。



町民みんなへのワクチン接種が進められていきます

地域医療の現状と将来を考えて

議会議員研修会開催

2月10日、議場において、令和2年度議会議員研修会を開催しました。

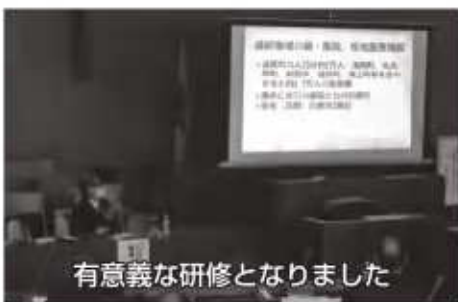
今回は、JA北海道厚生連遠軽厚生病院総合内科主任部長東浦勝浩医師を講師に招き、「地域で暮らし続けるために、地域医療の現状と将来を見据えて」と題し、ご講演いただきました。

東浦医師は遠軽町出身で、市立根室病院院長などを歴任され、現在は遠軽厚生病院総合内科主任部長として勤務、地域医療を中心に活躍されています。

講演では、ご経験に基づいた地域医療の現状や課題のほか、健康長寿の話

題や、新型コロナウイルス感染症について私たちが今できることなどのお話がありました。

講演のまとめでは、地域で暮らし続けるために必要な在宅診療など、将来を見据えた地域医療の考え方についての説明があり、町議会議員としても、住み慣れた地域で暮らし続けるために考えていかなければならないこととして、いま一度確認でき、大変意義のある研修会となりました。



有意義な研修となりました

ただ 町政を質す!!

令和3年第2回町議会(定例会)一般質問には、5人の議員が登壇し、多岐に渡り白熱した議論が展開されました。※一部要約して記載

一般 質問



竹中 裕志 議員

今後の新型コロナウイルスワクチン接種は

17



佐藤 昇 議員

男女平等、男女共同参画に対する町の考えは?

18



佐藤 登 議員

自治会条例を制定すべきではないか

19



岩澤 武征 議員

小中学生の通院医療費の無料化を

20



阿部 君枝 議員

コロナ感染者等への偏見・差別に対する対応を

21

一般質問とは?

一般質問は、町の行政全般(一般事務)に関し、執行者所見や疑義について質問できるものです。

質問する議員も、受ける執行機関も十分な時間が必要なことから通告制とし、事前に質問内容を通告することとしています。

本町議会では質問と答弁がかみ合うように、全文通告制がとられています。

再質問からは、一問一答方式が採用されており、回数に制限なく質問時間を一議員30分以内としています。

ここが聞きたい!

ただ 市政を質す!!

一般質問

竹中裕志 議員



問 コロナ禍において、昼夜を問わず奮闘されている医療関係従事者並びに介護・福祉などの業務に携わる皆様に、心から感謝を申し上げます。

2月中旬から待望の新型コロナウイルスワクチンが国の承認を受け、まずは感染症の安全性調査に参加する医療従事者への接種、3月には感染症診療に関わる医療従事者、保健所職員などへの接種を終え、4月からは本格的に各市町村が担う業務の65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方などへと、ワクチンの接種が進められていきます。

また本事業は来年までの長期に渡り、これに伴う接種対象者に配布する接種券や案内状等の送付作業など、多種多様な業務対応も急がれます。

そこで次の3点について伺います。

問1 業務の長期化とワクチン接種事業に伴う業務が増すなか、担当職員を強化する考えは。

また本事業は来年までの長期に渡り、これに伴う接種対象者に配布する接種券や案内状等の送付作業など、多種多様な業務対応も急がれます。

再問 ワクチン接種についての相談等の窓口は。

保険福祉課長 接種の相談については保健福祉課で対応します。

問2 接種場所は、町内の6医療機関と集団接種会場に2施設を予定と聞いているが、新たな会場増設の予定は。また、高齢者など来場が難しい方の対応の考えは。

また、接種会場のない白滝地域では会計年度任用職員を配置して、丸瀬布会場までの送迎を予定し、町内高齢者施設の入居者については、施設での接種を予定しています。

通院困難者、訪問医療受診者のほか、実施の詳細については、遠軽医師会や医療機関の連絡会議で方法等を検討していく予定です。

今後は、国の状況によって、臨機応変に対応してまいります。

問 今後の新型コロナウイルスワクチン接種は

答 国の状況により変わる可能性も考えられるが、臨機応変に対応する

再問 安国地域の接種会場はどこなのか。

保険福祉課長 安国診療所での接種を考えています。

問3 接種は住所所在地で受けるのが基本だが、近隣市町村と連携した共同接種などの考えは。

町長 住所所在地での接種が基本ですが、居住市町村以外でも接種券の発行を受けて接種可能です。近隣市町村との共同接種の予定はありませんが、接種方法や透析者等の対応などの情報交換をしています。



誰もが安心して受けるためには

一般質問

佐藤 昇 議員



ただ 町政を質す!!

問 ジェンダー平等について改めて考えさせられることとなりました。

日本では平成11年6月に「男女共同参画基本法」が制定され、男女共同参画を実現させるための柱が示されています。

ジェンダー平等という意識が高まりつつある今日の状況を踏まえ、また東京オリンピック、パラリンピックのホストタウンとしても、政策の展開を内外に示すことは意義があると考えます。

3点について町長の見解を伺います。

1. 基本法第14条では、

問

男女平等、男女共同参画に対する町の考えは？

答

幅広い町民との協働でまちづくりを進めたい

市町村においても「男女共同参画社会の形成の促進に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努める」とされていることもあり、今後条例の制定や、参画基本計画を策定する努力をすべきと考えるがどうか。

2. 遠軽町における管理職等の割合は課長等で7.7%となっています。管理職登用に当たっては、一定のキャリアが必要となることは理解しつつも、今後に向けて、管理職に登用できる職場の環境づくりと人材育成を進めながら、段階的に増やしていく努力をすべきと考えるがどうか。

と考えるがどうか。

3. 町が所管する各種審議会、町が委嘱する各種委員会において、可能な限り男女それぞれの比率を40%以上に設定するなど、多様な意見を取り入れる努力をすべきと考えるがどうか。

町長

1. 本町は、令和2年度から令和6年度を策定期間とする「第2次総合計画後期基本計画」において、各種委員への女性の積極的な登用を行い、まちづくりに参画しやすい環境づくりの推進に取り組む、だれもがはたらくしやすい仕事と仕事以外の生活の調和の中から性別や年齢に関係なく幅広い町民と協働するまちづくりを進めていることから、今のところ条例の制定や、参画基本計画を策定する考えはありません。

2. 女性の管理職を増や

し、多様性のある組織を作ることは女性の視点によるきめ細やかな政策の実現や、行政サービスの質の向上のためにも重要であると考えています。人材育成は、「人材育成基本方針」に基づき性別にかかわらず取り組んできました。

また本年4月1日の採用予定者11名のうち女性は7名で、6割を超えています。

女性職員の管理職登用は、人材育成や確保の取り組みを引き続き実施することで適切に登用していきます。

3. あらゆる分野に参画できる機会を確保するため、柔軟性を持って対応したいと考えています。



バランスのとれた人材の活用を

町政を質す!!

一般質問

佐藤 登議員



答

問

自治会条例を制定すべきではないか

住民の民主的な運営であり、制定は考えていない

問 現在の自治会は、活動と運営に支障をきたしているのが実態であり、そのおもな要因は次の通りと考えられます。

- ・災害発生時における自治会と町の分担連携が明確化されていない。
- ・自治会の福祉委員と町の福祉関係者との分担連携が明確化されていない。
- ・自治会の活動に無関心な世帯が増加傾向にある。
- ・自治会役員の成り手不足が深刻化している。
- ・短期転勤者、アパート住居者、単身者等の加入率が低い傾向にある。
- ・地方部、農村部において

て少子高齢化と過疎化が進行しており、自治会活動が困難になっている。

これらの現状をふまえて次の点について質問します。

問1 自治会と行政の分担役割を明確にした条例を制定すべきではないか。

問2 自治会活動の負担を軽減するため次の2点を改善すべきではないか。

- ① 生活安全灯は、町が設置と維持管理を行うべきではないか。
- ② 広報えんがると議会だよりは、冊子を必要とする希望者に、郵送その

他の手段で直接配布すべきではないか。

町長

答1 地域住民の民主的な運営によるところが本来の自治会組織のあるべき姿でありますことから、町として条例を制定する

考えはございません。

答2

① 自治会が今日まで生活向上をめざして活動されてこられたことからするとデメリットになりませんので、従来通りの対応を考えております。

② 当面は、現在の方法によりますが、住民のニーズ調査等を実施し、今後配布方法について検討してまいりたいと考えております。

時代とともに自治会の在り方に変化も



質問、答弁は要約されています。

議会だよりでは質問・答弁の内容を議員それぞれが要約したものを載せております。質問・答弁の全文については、スペースの都合から載せることが出来ませんが、詳しくお知りになりたい方は遠軽町議会事務局へお問い合わせください。

なお、全文記載の会議録ができあがるまで、当該議会が終了後、約3か月かかります。

ただ 町政を質す!!

一般質問

岩澤武征議員



問

小中学生の通院医療費の無料化を

答

通院医療費を無料化する考えはありません

問 町の将来を担う子どもたちの健全な成長はみんなの願いです。全道的に見ても、小学生から中学生までの入・通院費を負担する自治体が134町村中123町村で92%に、高校生まで拡大している町村も68で51%になっています。

子どもの成長発達に自治体が責任を持つ、社会全体で子どもの成長を見ていこうというのは当たり前になっています。だからこれだけ多くの町村が入院・通院について負担しています。遠軽町の少子高齢化の進行は予想以上です。

5年前の0歳児は151人ですが、令和2年12月末では86人です。二桁になったのは初めてです。子どもの減少という実態を考えれば、町の将来が心配です。子どもたちの命を守ることが町の運営の基本中の基本ではないかと考えます。

子どもたちの通院に不安なく、親がしっかり子育てできる環境づくりをしていただきたい。

町長 地域の実情に応じた行政サービスを限られた財源の中で行っており、学校教育などを通してさまざまな子育て支援をし

ているところであります。

町としては通院医療費を無料化する考えはありませんが、中学生までの入院に対する助成を引き続き行ってまいります。

様々な施策による子育て支援の議論を!



問 国保世帯の子どもの均等割の負担軽減を
答 町独自の減免制度を導入する考えはない

問 収入のない子どもに負担を強いる均等割は、「能力に応じて負担する」という税の原則に反するものです。この問題は以前から全国知事会や市長会など地方6団体が、子育て支援の観点から軽減措置を実施するよう求めていたものです。

厚生労働省は、未就学児の均等割について令和4年度から公費負担する方針を決定しました。均

等割を子どもに負担させる合理性がないことを国が認めたものです。

遠軽町の国保に加入する世帯の小中学生は220人、高校生は82人です。町として負担できない金額ではありません。町独自で実施できませんか。

町長 国の方針により法定外の繰り入れは認められていないことから、不足が見込まれる財源を確保することができないことになっております。

子ども均等割の減免を実施している旭川市においても、令和6年度までに段階的に廃止の見込みという事です。

子育て支援策については、子どもが生まれてから高校卒業まで行政サービスを行っているところであり、町独自の減免制度を導入する考えはありません。

ただ 町政を質す!!

一般質問

阿部君枝 議員



問 新型コロナウイルスに感染した人やその家族に対する差別によって、深刻な人権侵害が起きています。

特に地方は感染者が目立ちやすく差別などを受けやすい傾向にあり、医療従事者が中傷されたり、子どもを保育園に登園させないよう求められたりとの報道もありました。

医療従事者以外でも、介護施設、保育所、スーパー、トラック運送、清掃など私たちの生活はこういった方々により支えられています。

こうした方々に対して、感染に関する誤解や偏見

に基づく差別を行うことは許されません。

しかしながら、職場の人間からの露骨な嫌がらせなど、偏見・差別に苦悩している町民が存在しており、町として有効な支援策が必要と考えます。町長の見解を伺います。



いわれのない差別や偏見、誹謗中傷は許されない

問

コロナ感染者等への偏見・差別に
対する対応を

答

いじめ防止に向けた啓発を引き続き
周知を図る

町長 新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、感染への不安や恐れから、感染された方々や医療・介護事業者をはじめ、その家族等に対するいわれのない差別や偏見、誹謗中傷などの事例があったと聞き及んでおります。

より、いじめ防止に向けた啓発を強く重点的に
行っており、引き続き周知を図ってまいります。

問 行政文書の押印廃止
に向けての取り組みを。

答 全庁的な見直しに着手する。

感染症の個人情報保護は法律等においても規定されているところであり、このような心ない行為は、決してあってはならず、許されるものではありません。

町では、昨年の4月より数回にわたり、広報瓦版やホームページなどに

問 国は、「どうしても残さなければならぬ手続きを除き、速やかに押印を見直す」との考えの下、約一万五千の行政手続きのうち「99・247%」手続きで押印を廃止できると明らかにしました。

また、「存続する相当

部分は印鑑登録されたものや銀行の届け出印など、そういうものが今回は残る」と説明され、「デジタル庁が発足し、業務がデジタル化された際には電子認証などが導入されるだろう」との見通しを示されました。

これらを踏まえ、我が町の行政文書においても、何と何が廃止できるかを判断しリストの洗い出しすべきと考えます。取り組み状況を伺います。

町長 国の動きを受け、押印のあり方を見直すことで、町民等の負担を軽減し、利便性が図られ、行政サービスの向上につながることから、先般、全庁的な見直しに着手することと致しました。

各常任委員会で審議した主な項目について掲載しています。

常任委員会 レポート

総務・文教

この地域に必要な ジオパーク活動とは

ジオパークは、持続可能な地域社会の実現のために住民、行政、関係機関が共に考え続けていくことが求められていることから、認定機関である日本ジオパーク委員会による4年に一度の再認定審査で活動状況が確認される。

白滝ジオパーク 再認定審査の結果は

4年前の審査で指摘された内容について事務局が取り組み、複数の協力団体が活動に積極的に関わってきたことは確認・評価されたが、平成29年以降の人員削減や専門員の不在によりジオパーク活動の後退・停滞が表面化、活動の持続性に関する深刻な問題を抱えており、日本ジオパークネットワークなどを活用し、地域が目指す活動ができるよう人員や予算を獲得して、協議会全体で体制や運営を立て直すことが必要などの指摘・提案が

黒曜石を生かした まちづくりとは



日本最大級の黒曜石埋蔵量を誇る赤石山八号沢露頭

あり、白滝ジオパークは平成22年の認定以降、二度目となる「条件付き再認定」となった。

地域に必要な活動は何か

今後は「この地域に必要なジオパーク活動とは何か」、「この地域に必要な黒曜石を生かしたまちづくりとは何か」という原点到立ち返り、関係各位と相談しながら対応を検討していく。



問 白滝ジオパーク推進協議会との関わり方は。

答 教育活動に関しては評価されているが、観光産業等との連携不足は否めないため、改善できるように協議していきたい。

この案件を含め委員会を4回開催、案件24件について審議しました。

いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるために

介護保険料の改正
(令和3年度から令和5年度)

介護保険料は、3年ごとに見直す介護保険事業計画に沿って設定する。

遠軽町における第8期の第1号被保険者（65歳以上）の介護保険料基準額は月額5,000円、年額60,000円となる。

第7期において、これまでの6段階8区分の分類を9段階に区分し、低所得者の負担軽減を図っていたが、第8期についても同様に9段階に区分し、低所得者の負担軽減を図っていく。

まちぐるみの支え合いの仕組みの構築を

団塊の世代が75歳以上となる令和7年を目前に、いつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることがで

これからの
介護保険料額は

図表 第8期介護保険料

単位：円

区分	調整率	月額	年額	対象となる方	
第1段階	0.30 (0.5)	1,500 (2,500)	18,000 (30,000)	世帯全員 町民税非課税 生活保護被保護者、老齢福祉年金受給者、合計所得金額と課税年金収入額の合計が年80万円以下の方	
第2段階	0.50 (0.62)	2,500 (3,100)	30,000 (37,200)		合計所得金額と課税年金収入額の合計額が年120万円以下の方
第3段階	0.70 (0.75)	3,500 (3,750)	42,000 (45,000)		合計所得金額と課税年金収入額の合計額が年120万円を超える方
第4段階	0.90	4,500	54,000	世帯に町民税課税者がいる 本人町民税非課税で合計所得金額と課税年金収入額の合計が年80万円以下の方	
第5段階	1.00	5,000	60,000		本人町民税非課税で合計所得金額と課税年金収入額の合計が年80万円を超える方
第6段階	1.20	6,000	72,000	本人町民税課税 合計所得金額が120万円未満の方	
第7段階	1.30	6,500	78,000		合計所得金額が120万円以上190万円未満の方
第8段階	1.50	7,500	90,000		合計所得金額が190万円以上290万円未満の方
第9段階	1.70	8,500	102,000		合計所得金額が290万円以上の方

※第1段階から第3段階について、上段は軽減後、下段()書きは条例上の調整率

きるよう、住まい、医療、介護、予防及び生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム「まちぐるみの支え合いの仕組み」の構築を実現していく。

さらに、介護ニーズの高い85歳以上人口が増加し、担い手不足が顕著となり、介護サービスの多様化が見込まれる令和22年を見据えて地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要となっていく。



問 令和7年、22年とニーズの増加、支え手不足から保険料の上昇も見込まれるが施策の検討は。

答 引き続き、介護状態の重度化を抑えるための検診や介護予防などに取り組んでいく。

この案件を含め委員会を2回開催、案件21件について審議しました。

常任委員会 レポート

経済

農業労働力の確保と 後継者対策を

遠軽町新規就農者誘致促進条例の改正

町内の農業者数は年々減少し、一戸当たりの農業経営面積も労働力を伴わないと拡大が困難である状況に対し、今後本町の安定的な農業経営を育成していくためにも、従来実施してきた新規就農者への支援を見直すとともに、農業労働力の確保や後継者対策として、既存農家の経営継続に対する支援を新たに行うため、対象範囲を「新規就農者」から「新規農業従事者」に広げ、「遠軽町新規就農者等支援条例」へと名称を変更し改正した。

新規農業従事者への支援
(新たな改正事項)

農業は他産業に比べ、自然災害・土地条件・有害動植物等のリスクを負う職種であり、この一次産業の衰退が地域経済の

町の安定的な農業 経営を育成してい くために

新しく農業を始める人が増えることで、新たな地域交流、そして地域活性化も！



(新規就農者の方も加わる「白濁じゃが生産部会じゃがリンズ」のみなさん)

衰退に繋がることから、農業労働力の町外への流出防止、Uターン等による経営継承の後押しなどを目的として支援する。
町内で2親等以内の親族が経営する既存農家に就農する者に対して、就農時に60万円を新規就農奨励金として交付する。

注目に
注目に

問 就農先とする既存農家にこそ制度のPRしなければ、新規就農を考える2親等以内の親族にも声が届かないのでは。

答 経営移譲を考える農家が増えてきているので、しっかりPRしていきたい。

この案件を含めて委員会を5回開催、案件25件について審議しました。

議会運営委員会 レポート

コロナ禍の議会と オンラインの可能性

新型コロナウイルス感染症の影響拡大を機に、地方議会でインターネットを活用したオンラインによる委員会などの会議を行う動きが増えてきている。

感染症のまん延、災害の発生などやむを得ない理由により委員会等を招集することが困難である場合にオンライン会議システムにより委員の会議の出席を認めるもの。

遠軽町議会では、新型コロナウイルス感染症のこれ以上の感染拡大を防止する上でも、議会として可能な限りの安定的な議会運営を行うため、感染防止対策や会議等の持ち方、感染者発生時の対応、業務継続などについて「遠軽町議会新型コロナウイルス感染症等に係る対応マニュアル」を定めたが、オンライン会議は継続課題としていた。

オンライン会議への 取り組み

「議論も必要だが、体験

オンラインツール 活用の課題は



検証を重ね課題を洗い出していく
(オンライン会議試験接続の様子)

して分かることもある」という意見から、議会運営委員会の委員は1月、オンライン会議システム「Zoom」を利用し、委員の自宅から私用端末を用いた会議を試験的に行った。

初回でもあったため審議等は行わず、会議そのものは使用方法の確認などの短時間なものであったが、各委員のインターネット環境の違いなど、さっそく課題が分かってきた。

議員へIT知識が求められることや、必要な機材の整備など課題は多いが、今後も段階的に検証を重ね、活用に向けた課題などを洗い出し、遠軽町議会としてのオンライン会議運営の確立を目指していく。

このほか委員会を3回開催、案件5件について審議しました。

自分の子供が働きたいと思える町に

えんがある話 (まちの声)

○有限会社西岡金物店
○代表取締役

西岡 鉄矢さん

昨年、親から事業を引き継いだ若手経営者で、4人の父として仕事と子育てに奮闘している西岡鉄矢さんにお話を伺いました。

仕事の内容は。

大きく2つあり、一つは金物店、もう一つは水道業です。

金物店のほうは、遠軽高校前で店舗を構え、近隣の方を中心にお世話になっていきます。

水道業は宅内・宅外の管工事や水洗工事を行っており、こちらがメインの仕事となっています。

事業を引き継ぐまでの経緯は。

道外の大学を卒業して6年間紋別で仕事をしていましたが、28歳のときに親から「そろそろ戻ってこないか」という話があり地元である遠軽に戻ってきました。

お客様からも「西岡さんのところは息子さんがいるから安心だね」と言われるなど、いつかは世交代をするのかと思っていました。親もまだ元氣だったので跡を継ぐのはまだ先だと思っていました。ところが、昨年41歳の時、急に「そろそろどうか」と父親から言われ、自分がやれるかどうか心配でしたが、お客様から「ありがとうね」という言葉をいただいたりしているうちに、やらない後悔よりやった後悔のほうがよいと思い、親の跡を継ぐ決心をしました。

今後の夢は。

水道業は地域になくはない業種ですが、

なり手がいないのが現状です。私には子どもが4人いますが、自発的に子どもたちが「お父さんの仕事っていいなあ」と思えるように親の背中を見せていきたいと思っています。

嬉しいことに次男がこの仕事をやりたいと言ってくれているので、将来を楽しみにしています。

今年も大通りで薬屋さんが閉店するなど、街中がシャッター街になっていくのは、遠軽で生まれた育った人間としてとても



街も店も一緒に盛り上がる町にしたいです！

さみしいです。私が小さいときは岩見通りでの歩行者天国など個人商店と連携したイベントがあり、とても楽しかった思い出があります。自分の子どもたちにもこのような経験をさせてあげたいと思っています。町の補助金などは充実しています。それが別にもっとアイディアを出して、個人商店や商店街と連携したイベントの企画を検討して頂けると嬉しく思います。

議会については、実は議会がどんなことをしているかわかっていません。議会が大型事業がどんな議論で決まって、今後どういう風に形になっていくかが経緯も含めわからずにいます。

議会全体がどんなことをやっているかもっとわかりやすくなればと思います。

今日の表紙

今日の表紙は、令和3年3月末をもって閉校した瀬戸瀬小学校卒業式・修了式の様子です。

瀬戸瀬小学校最後の卒業生となった4人は卒業証書を受け取ると、少し緊張した面持ちで、一人一人がこれからの夢や目標を発表しました。

最後は先生や下級生、地域の皆さん、そしてお父さん・お母さんたちにあいさつすると、大切なみんなと泣き笑った思い出とともに、新たな一歩を踏み出しました。

えんがる議会だより 第62号

令和3年5月1日発行

発行/遠軽町議会

〒099-0492 遠軽町一条通北3丁目

編集/遠軽町議会広報特別委員会

印刷/株式会社遠軽新聞社